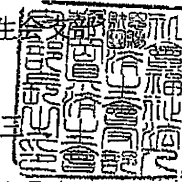


地域医療支援病院業務報告書

令和6年9月20日

静岡市保健所長 田中 一成 様

〒422-8527
住所 (静岡市駿河区小鹿一丁目1番1号
開設者 社会福祉法人^{登録}済生会^{財団}
静岡県済生会
氏名 支部長 石山 純三
電話 054-285-6171



令和5年度の業務について、次のとおり医療法第12条の2第1項の規定により報告します。

- 1 地域医療支援病院の名称
- 2 開設の場所
- 3 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績
- 4 共同利用の実績
- 5 救急医療の提供の実績
- 6 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績
- 7 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
- 8 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 9 医療法施行規則第9条の19第1項の委員会の開催の実績
- 10 患者相談の実績



別紙 1 地域医療支援病院の名称及び開設の場所

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒422-8527 静岡県静岡市駿河区小鹿一丁目1番1号
氏名	社会福祉法人 ^{静岡} 済生会支部静岡県済生会

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 地域医療支援病院の名称

静岡済生会総合病院

3 所在の場所

〒422-8527 静岡県静岡市駿河区小鹿一丁目1番1号	電話 (054) 285-6171
---------------------------------	-------------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
0床	0床	0床	0床	578床	578床

5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 緊急蘇生セット2セット、除細動器2台、心電計2台、ポータブルX線撮影装置、呼吸循環監視装置29台、経皮的酸素分圧監視装置29台、超音波診断装置1台、輸送用モニタ2台、ASV1台、人工呼吸器5台、CHDF3台、NHF7台、NIPPV2台 病床数 29床
化学検査室	(主な設備) 生化学自動分析装置 (FX-8) 2台、生化学自動分析装置 (cobas pure) 1台、生化学自動分析装置 (cobas8000) 1台、免疫発光測定装置 (Alinity) 2台、リアルタイムPCR装置 1台、遺伝子解析装置 (Liat) 4台、自動核酸精製装置 (QIAcube connect) 1台、微量分光光度計 (NanoDrop Lite Plus) 1台、免疫比濁分析装置 (STACIA) 1台、汎用分光光度分析装置 1台、分注装置 1台、全自動血糖測定装置 1台、全自動HbA1c測定装置2台、血液ガス分析装置2台、便潜血測定装置1台、多項目自動血球分析装置1台、塗抹標本作成装置1台、血液像自動分析装置1台、血液凝固自動分析装置2台、カード式全自動輸血検査装置1台、尿自動分析装置1台、免疫蛍光分析装置 (アレルギー) 1台、全自動血液培養装置 (FX40) 1台
細菌検査室	(主な設備) 全自動同定感受性検査システム (Phoenix M50) 2台、自動菌液調整システム (Phoenix AP) 1台、全自動同定感受性測定装置 (RAISUS S4) 1台、全自動血液培養装置 (BD BACTECFX) 1台、自動遺伝子装置 TRCReady80 1台、全自動遺伝子解析装置 (SmartGene) 4台、全自動遺伝子解析装置 (GeneXpert) 2台
病理検査室	(主な設備) 密閉式自動包埋装置2台、凍結ミクロトーム1台、自動染色装置2台、自動封入装置2台、全自動免疫染色装置1台、パラフィン包埋ブロック作成装置1台、臓器写真撮影装置1台、滑走式ミクロトーム2台、臓器標本保管用真空包装装置1台、包埋カセット印字装置1台、スライド印字装置2台、ホルマリン脱気固定装置1台
病理解剖室	(主な設備) 解剖台、ストライカー、解剖用吸引装置、臓器写真撮影装置
研究室	(主な設備) 第1会議室
講義室	室数 6室 収容定員 229人
図書室	室数 1室 蔵書数 4,519冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 輸液ポンプ*使用時に持込、シリンジポンプ*使用時に持込 成人用/新生児用ベッドサイドモニタ、除細動器、電動吸引器 搬送用クベース、酸素ボンベ (500L/1500L)、

	圧縮空気ポンプ (500L/1500L)、人工呼吸器、加温加湿器 、酸素・圧縮空気圧力調整器、酸素流量計 保有台数 1台	
医薬品情報管理室	[専用室の場合] [共用室の場合]	床面積 59.317㎡ 服薬指導室と共用

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

別紙2 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

(他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績)

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率				
地域医療支援病院 紹介率		76.6%	算定 期間	令和5年 4月 1日 ~ 令和6年 3月 31日
地域医療支援病院 逆紹介率		114.1%		
算出 根拠	A：紹介患者の数			10,110人
	B：初診患者の数			13,198人
	C：逆紹介患者の数			15,062人

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

※添付資料① 令和5年度地域医療支援病院紹介率及び逆紹介率及び救急医療の提供実績を添付いたします。

別紙 3 共同利用の実績

(地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類)

1 共同利用の実績

1)	病床の共同利用を行った医療機関の延べ数	9 4
	うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	9 4
2)	医療機器	
	・MR I の共同利用を行った医療機関の延べ数	4 1
	うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	4 1
	・CT の共同利用を行った医療機関の延べ数	2 9
	うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	2 9
	・骨密度測定 の共同利用を行った医療機関の延べ数	6
	うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	6
	・超音波検査 の共同利用を行った医療機関の延べ数	1 3
	うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	1 3
	・骨シンチ の共同利用を行った医療機関の延べ数	3
	うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	3
3)	研修施設の共同利用を行った医療機関の延べ数	8
	うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	8
合計	医療機関の延べ数	1 9 4
	うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	1 9 4
共同利用に係る病床利用率		6 0.1%

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

図書室とその設備
講堂とその設備
会議室(第5会議室)とその設備
各検査室(MRI・CT・動脈硬化検査など)とその検査機器
手術室とその設備
研究室とその設備

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

※添付資料② 静岡済生会総合病院病診連携システム協定書を添付いたします。

3 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規定の有無 ☒ ・無

イ 利用医師等登録制度の担当者 氏 名： XXXXXXXXXX

職 種：事務

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
医療機器及び病床の共同利用の名簿に記載された医療機関数 医科 155施設 そのうち開設者と直接関係の無い医療機関 155施設 歯科 1施設 そのうち開設者と直接関係の無い医療機関 1施設 ※添付資料③ 令和5年度登録医療機関名簿を添付いたします。				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	8床
--------------	----

別紙4 救急医療の提供の実績

(救急医療を提供する能力を有することを証する書類)

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

医師	常勤	専従	2名	日本救急医学学会救急科専門医	1名
				日本集中治療医学会専門医	1名
	常勤	非専従	136名		
	非常勤	専従	5名		
看護師	常勤	専従	64名	救急看護認定看護師	2名
				クリティカルケア認定看護師	1名
	常勤	非専従	53名		
薬剤師	常勤	専従	4名		
	常勤	非専従	23名		
※添付資料④ 救急医療従事者名簿を添付いたします。					

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	29床
専用病床	0床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
東館1階 救命救急センター	1,662.43㎡	(主な設備) X線装置、超音波診断装置	可
東館6階	1,664.85㎡	(主な設備) ベッドサイドモニタ、 超音波診断装置	可
MRI棟	645.51㎡	(主な設備) MRI	可 (MRIのみ)

4 備考

救急病院等を定める省令（昭和39年厚労省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定、又救急医療対策の整備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚労省医務局長通知）に基づき、病院群輪番制病院、救命救急センターを運営している病院である。

- (注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	5,652人 (2,450人)
上記以外の救急患者の数	9,352人 (1,755人)
合計	15,004人 (4,205人)

- (注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

※添付資料⑤ 令和5年度救命受診実績を添付いたします。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

別紙 5 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

(地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明)

1 研修の内容

令和 5 年度 地域ケア従事者研修会

開催回数：2 回

参加人数：165 人

うち 当院からの参加者数 15 人

うち 院外からの参加者数 150 人

認定看護師による研修動画配信

開催回数：3 回

参加人数：939 人

うち 当院からの参加者数 0 人

うち 院外からの参加者数 939 人

地域リハビリテーション研修会

開催回数：1 回

参加人数：31 人

うち 当院からの参加者数 0 人

うち 院外からの参加者数 31 人

薬薬連携推進研修会

開催回数：1 回

参加人数：44 人

うち 当院からの参加人数 8 人 (医師 1 人)

うち 院外からの参加者数 36 人

新生児蘇生法「専門」コース講習会

開催回数：3 回

参加人数：18 人

うち 当院からの参加人数 11 人 (医師 6 人)

うち 院外からの参加人数 7 人 (医師 2 人)

新生児蘇生法「スキルアップ」コース講習会

開催回数：3 回

参加人数：19 人

うち 当院からの参加人数 9 人 (医師 2 人)

うち 院外からの参加人数 10 人 (医師 2 人)

ロボット支援手術の現状とダヴィンチデモンストレーション

開催回数：1 回

参加人数：4 人

うち 当院からの参加人数 0 人

うち 院外からの参加人数 4 人 (医師 4 人)

不眠症診療セミナー

開催回数：1 回

参加人数：47 人

うち 当院からの参加人数 33 人 (医師 4 人)

うち 院外からの参加人数 14 人 (医師 8 人)

※添付資料⑥ 令和 5 年度研修実績報告を添付いたします。

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	15回
(2) (1) の合計研修者数	1,267人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

ア 研修プログラムの有無 ☒ 有 ・ 無

イ 研修委員会設置の有無 ☒ 有 ・ 無

ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
	医師	外科	病院長/部長	35年	
	医師	脳神経内科	部長	38年	
	医師	循環器内科	副院長/部長	3.2年	教育責任者
	看護師		外来看護師長	年	
	看護師		入退院支援 看護師主任	年	
	理学療法士		リハビリテーション科 主任	年	
	事務員		事務部長	年	
	MSW		地域医療センター 副センター長	年	
	事務員		地域連携室 室長		
	事務員		地域連携室 副主任		
	事務員		地域連携室 副主任		
	事務員		地域連携室		

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要
講堂	221.40㎡	(主な設備) プロジェクター・机・椅子 ・マイク
研修医室	40.09㎡	(主な設備) プロジェクター・スクリーン ・机付き椅子
第2会議室	52.04㎡	(主な設備) プロジェクター・スクリーン ・机・椅子
第3会議室	42.94㎡	(主な設備) プロジェクター・スクリーン ・机・椅子
第5会議室	30.64㎡	(主な設備) 大型ディスプレイ・机・椅子
第6会議室	24.99㎡	(主な設備) 大型ディスプレイ・机・椅子

別紙6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者氏名	病院長	
管理担当者氏名	事務部長	地域医療センター

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		医療情報室・カルテ室	電子カルテ
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域連携室	
	救急医療の提供の実績	医事課	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域医療センター	
	閲覧実績	地域連携室	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域連携室	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

別紙7 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者氏名	病院長	
閲覧担当者氏名	事務部長	地域医療センター
閲覧の求めに応じる場所	地域医療センター	
閲覧の手続の概要 ①申込者による申請（電話・来所・文書など）、臨機応変に地域連携室が対応 ②閲覧責任者による決裁（事案により、地域医療委員会で審議・検討を行う） ③申請者に閲覧可否の連絡 ④地域連携室にて閲覧		

前年度の総閲覧件数		0件
閲覧者別	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	0件

別紙 8 医療法施行規則第9条19の委員会の開催の実績

委員会の開催回数	6 回	
委員会における議論の概要		
令和 5 年度 第 1 回 静岡済生会総合病院 地域医療支援病院運営委員会 日 時：令和 5 年 8 月 1 8 日（金）～令和 5 年 8 月 3 1 日（木） 開催形式：書面審議 委員総数：1 0 人 出席者数：1 0 人 議 題：1. 令和 4 年度実績報告 2. 令和 4 年度 E 2 ネット実績報告		
令和 5 年度 第 2 回 静岡済生会総合病院 地域医療支援病院運営委員会 日 時：令和 5 年 9 月 1 3 日（水） 場 所：当院 北館地階 講堂 委員総数：1 0 人 出席者数：8 人 議 題：1. 院内見学 血管撮影室 2. 無料低額診療事業について 3. 紹介受診重点医療機関と外来効率化の取り組みについて 4. 第 1 回地域医療支援病院運営委員会書面審議報告 5. 意見交換・その他		
令和 5 年度 第 3 回 静岡済生会総合病院 地域医療支援病院運営委員会 日 時：令和 5 年 1 2 月 1 2 日（火）～令和 5 年 1 2 月 2 6 日（火） 開催形式：書面審議 委員総数：1 0 人 出席者数：1 0 人 議 題：実績報告		

令和5年度 第4回 静岡済生会総合病院 地域医療支援病院運営委員会

日 時：令和6年2月20日（火）

場 所：当院 北館地階 講堂

委員総数：10人

出席者数：8人

- 議 題：1. 外来効率化の取り組みについて
2. 入院期間適正化への取り組み
3. 令和5年度市民公開講座・その他の活動報告
4. 意見交換・その他

令和5年度 静岡済生会総合病院 病診連携システム運営協議会（静岡市静岡医師会）

日 時：令和5年10月6日（金）

場 所：当院 北館地階 講堂

出席者数：25人

- 議 題：1. 令和4年度実績報告
2. 令和4年度E2ネット報告
3. ロボット支援技術の現状
4. 紹介受診重点医療機関と外来効率化の取り組みについて
5. 意見交換・その他

令和5年度 静岡済生会総合病院 病診連携システム運営協議会（静岡市清水医師会）

日 時：令和5年11月9日（木）

場 所：清水医師会 清水保健福祉センター4階 会議室

出席者数：21人

- 議 題：1. 令和4年度実績報告
2. 令和4年度E2ネット報告
3. ロボット支援技術の現状
4. 紹介受診重点医療機関と外来効率化の取り組みについて
5. 意見交換・その他

※添付資料⑦ 地域医療支援病院運営委員会委員名簿

地域医療支援病院運営委員会議事録

病診連携システム運営協議会議事録を添付いたします。

（注） 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

別紙9 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・その他（ ）
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	医療ソーシャルワーカー 5名 退院支援看護師 8名
患者相談件数	7, 841件

患者相談の概要

実相談者数 2,280人

相談内容内訳

①受診受療援助	67件
②経済的問題(医療保障)	520件
(生活保障)	49件
③社会的問題の解決	116件
④在宅療養支援	220件
⑤退院支援	1,359件
⑥社会復帰	2件
⑦心理・情緒的支援	3件
⑧苦情	35件
⑨その他	42件

*「その他」の内訳

健康相談：7件、接遇への苦情：24件

医療行為への不信・医療事故・情報公開：5件

設備・運営体制等：3件、その他：3件

計 2,413件 (重複あり)

- ・地域医療センター内では、医療相談室・入退院支援室で相談窓口を担っている。そのうち、退院支援に関しては入退院支援室看護師が主に役割を果たし、医療相談室MSWは社会的困難を抱えるケースを中心に担当するなど業務分担を図っている。
- ・苦情に関しては、MSWが当該部署に状況を確認し病院への報告を行うと共に、必要に応じ現場管理者を通じて部署内での改善策の立案や職員への指導を依頼している。

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

別紙10 その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	④・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 公益財団法人日本医療機能評価機構 初回：平成13年2月 前回：令和4年1月	

(注)医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	④・無
・情報発信の方法、内容等の概要 患者向け情報誌「HOME」 年4回 地域の医療機関向けパンフレット「病診連携のご案内」 年1回 LINE・インスタグラム・ホームページ更新	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	④・無
・退院調整部門の概要 ・入退院支援室では、入退院支援看護師とMSWが、患者さんが安心して入院決定から退院後までの療養生活を送ることが出来るように支援しています。 ・2月から開始された患者サポートセンターでは、入院前から患者さんの「入院生活」や「退院後の生活」を見据えて、看護師だけでなく薬剤師、管理栄養士、MSW、事務職員等、多職種連携による支援を行っています。 ・入院後は、病棟看護師等との連携により、患者さんの身体的・社会的・心理的問題を把握して退院困難な誘因に基づき、必要に応じ様々なサポートが受けられるように連携します。また、患者さん家族の希望を伺いながら、自宅退院、施設入所や転院に向けて支援を行っています。自宅退院の場合は、地域のケアマネジャーを中心に介護サービス事業者等とのカンファレンスを開催し、在宅療養に繋いでいます。在宅療養が困難な場合で、施設入所や転院を希望される場合は、介護保険施設や社会福祉施設、医療機関と連携しながら支援しています。	

<退院支援に関わる加算>

入退院支援加算1	5, 994件
総合機能評価加算	4, 351件
入院時支援加算	1, 395件
介護支援等連携指導料	462件
退院時共同指導料2	376件
退院前訪問指導料	4件
退院後訪問指導料	2件

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・無
・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 大腿骨地域連携パス：入院件数 228件 パス適応件数 102件 脳卒中地域連携パス：入院件数 286件 パス適応件数 100件 ・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み イーソーネット大腿骨頸部骨折地域連携クリニカルパス会義 会義開催 3回（参加者：医師・看護師・理学療法士） ※会議にてパス集計結果を報告しております。 ・E2ネット種類 脳卒中、がん（S-NET）、心房細動（AF）、虚血性心疾患（IHD）、糖尿病、慢性腎疾患（CKD）、潰瘍性大腸炎、糖尿病性腎臓病（DKD） ・E2ネット取組み ・地域連携クリニカルパスを策定し、紙媒体でパス表のやりとりを行う。 ・医師会診療所、リハビリテーション病院、急性期病院等と定期的にパスの内容やそれぞれの役割について開催される会議等に担当医師及び地域連携室スタッフが参加し、情報交換を積極的に行うことで地域の関係者と顔の見える連携を深め、パスの推進を図っている。	

パスの種類		R5 年度登録件数
脳卒中	発症者	4 2
	リスク者	1 5
がん (S-NET)	胃がん	1 2
	大腸がん	4 5
	乳がん	6 3
心房細動 (AF)		6 5
虚血性心疾患 (IHD)		4 9
糖尿病		4
慢性腎疾患 (CKD)		3 9
潰瘍性大腸炎		1
糖尿病性腎臓病 (DKD)		1
合計		3 3 6